

# 気仙沼 鹿折 復幸マルシェ

## 店舗のご案内 & 鹿折エリアMAP

### 鹿折エリアMAP



#### 1 八幡神社(はちまんじんじゃ)



八幡神社の周辺は昔は水田でしたが、今では、どんどん宅地化が進んでいます。しかし、この神社だけは、昔と変わらないまま鹿折のまちを見守っています。高台に社地があったため、震災の影響は少なく鹿折のまちに残る重要な資源の一つです。

#### 2 鹿折金山跡



鹿折の北部には金山の跡があります。明治時代は金山の盛況期で、ここで産出された金塊が万博に出品され、「怪物(モンスター)」と呼ばれるほど人気を博していました。しかし、金価値の変動と貧乏によって経営は衰退し、昭和17年の金山整備令により廃鉱となりました。

#### 3 第十八共徳丸



震災の津波により唐桑鹿折駅の前まで流されてきた船艦「第十八共徳丸」です。この船の他にも、鹿折にはたくさんの船が流されてきましたが、1年経った現在では、この船を除き、全ての船が撤去されました。現在でも震災の悲惨さを人々に伝えています。

#### 4 飯綱神社(いいつなじんじゃ)



浪板地区にある神社です。社が高台にあったため、津波の被害がほとんどありませんでした。飯綱神社のある波板地区では「浪板虎舞(なみいたとらまい)」という伝統行事が行われています。

#### 5 井戸端地蔵尊



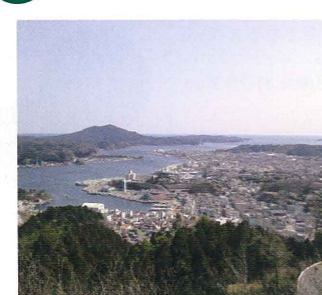
天保年代ごろ、飢饉で亡くなった方を供養するために設置された地蔵尊です。震災前までは毎年8月23日に灯籠に火を灯し、縁日を行っていました。一度は津波で地蔵尊や庚申塔が流されてしまいました。後日、無事見つかり、もとの場所に戻されています。

#### 6 かもめ通り商店街



鹿折に暮らす人たちの生活を支える商店がたくさん並んでおり鹿折で一番賑わっている場所でした。商店街で行われる「かもめまつり」は地域の人たちが一番楽しみにしている夏祭りです。

#### 7 安波山(あんばさん)



安波山は、鹿折の南西部にあります。気仙沼の象徴として地域の方々に親しまれている山です。

鹿折復幸マルシェへようこそ!



### マルシェのコンセプト

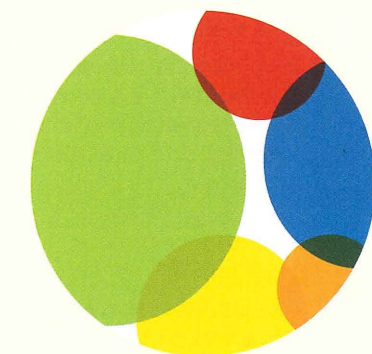
鹿折復幸マルシェは、20店舗から成る仮設市場です。しかし、単なる市場ではなく、参加型のコミュニティスペースつまり「みんなが集まる場所」でもあります。このマルシェは、「鹿折のまちを地元の人達でもう一度作ってみたい」という人々の思いから立ち上げられました。すべては復興のため…しかし、まちを取り戻すためにはまだすべきことがたくさんあります。また、復興は誰か一人の力で行えるものではありません。地域外の方々にも応援・協力していただきながら、様々な人が鹿折を元気にするために参加できる…そんな場所を作っていきたくと思っています。

今、鹿折で暮らす人たちのためにいつか鹿折に戻りたい人たちのために鹿折に来てくれたボランティアや観光に来てくれた方々のために

この復幸マルシェから鹿折は再スタートします。

### ロゴマークについて

復幸マルシェのシンボルであるこのロゴマークは、引き寄せられるように集まり、重なり合い、共鳴し合うカラフルな円によって構成されています。



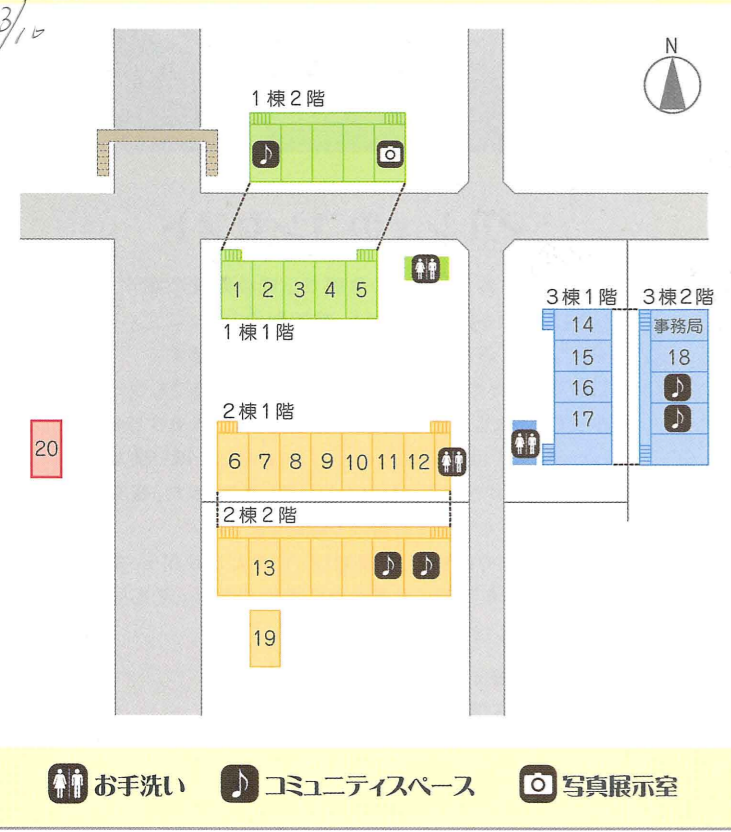
ロゴマークに使われている色の意味

- レッド：日本のこころ、情熱
- グリーン：生命感、実りの大地
- ブルー：大きな空、豊かな海
- イエロー：太陽の光、幸せ
- オレンジ：ぬくもり、ポジティブさ、前進

発行：鹿折復幸市場商店会  
制作：鹿折復幸市場サポーター  
(近畿大学都市計画研究室)  
協力：Smile Photo Project

お問い合わせ  
〒988-0007  
宮城県気仙沼市中みなと町107-1  
TEL: 080-5225-5151  
mail: hukko.marche@gmail.com  
HP: http://www.shishiori-marche.jp

# 鹿折復幸マルシェ お店MAP



**飲食**

**1 釜揚げうどん 団平**  
 気仙沼市内から、鹿折に店を移して5ヶ月後震災に遭いました。どうしても地元である鹿折から復興を行いたかったので、この復幸マルシェが立ち上がり、またうどんが打てるようになってうれしいです。  
 営業 10:30~22:00  
 ☎ 090-3750-4099

**惣菜・飲食**

**2 お食事処 塩田**  
 みんなが笑顔に満ち溢れ、誰にでもやさしく親切、明るく朗らか、生き生きキビキビ、清潔さわやか、お客様に心の安らぎ、ほのぼのとした温かさ、そして「元気」をあげられるお店でありたい。  
 営業 10:00~14:00  
 17:00~22:00  
 ☎ 090-9038-8138

**鮮魚**

**3 (有)海幸**  
 今まで観光客向けのお土産を売っていましたが、復幸マルシェでは、地元の人のための素材・食材を用意したいと思っています。鹿折のまちに灯り、明るさを取り戻したいです。  
 営業 9:00~18:00  
 木曜定休  
 ☎ 0226-24-7522

**乾物・生鮮食品**

**4 山長 小野寺商店**  
 移動販売から始めて、買い物に困っている鹿折の方々にたくさん見てきました。復幸マルシェを待ち望んでいたお客さんのためにも、この場所を中心に鹿折が活気づくように頑張りたいです。  
 営業 10:00~18:00  
 ☎ 0226-22-9085

**お茶**

**5 おのでら茶園**  
 震災前は、昔からのなじみのお客様がひなたぼっこをしながら、お茶の飲めるお茶屋でした。復幸マルシェでも、みんなでひなたぼっこをしながら、お話ができるようなお店に再開したいです。  
 営業 9:00~18:00  
 ☎ 0226-22-5649

**飲食**

**6 ホルモン 利平**  
 鹿折のまちで当たり前のように暮らしていましたが、その当たり前だったことが失われてしまいました。震災前の暮らしは取り戻せないかもしれませんが、ずっと先の鹿折のことをこのマルシェから考えていきたいです。  
 営業 17:00~22:00  
 ☎ 090-3642-4283

**お土産・グッズ**

**7 鹿折工房**  
 震災後、鹿折から離れて暮らしていましたが復幸マルシェを立ち上げる時に代表の塩田さんに誘われてまた鹿折に戻ってきました。やっぱりこの鹿折のまちが好きなので、鹿折の復幸のために頑張りたいです。  
 ☎ 080-5225-5151

**生花・食品**

**8 総合食品・花 やおりき**  
 はじめは、店の再開を迷っていましたが、鹿折に住む方々の、一日も早い復興になればと思い、出店を決めました。微力ですがみなさんの力になれば、幸いです。  
 営業 10:00~18:00  
 ☎ 0226-22-1114  
 ☎ 080-1815-1268

**牛乳**

**9 ミルクショップ MIU**  
 この復幸マルシェができたことで、鹿折の復興を色々な方と考えることができます。オープン後も、店主同士で知恵を出し合い、考えを共有しながら、マルシェや鹿折のまちを良くしていきたいです。  
 営業 10:00~17:00  
 水曜定休  
 ☎ 0226-22-1098

**酒・たばこ**

**10 田畑酒店**  
 お店の再開を迷っていましたが、お誘いを受け、復興に貢献したいと思います。今まで、商店街などの組合に入ったことがなく、不安もありますが復幸マルシェではみなさんと協力していきたいです。  
 営業 10:00~19:00  
 ☎ 090-4555-5504

**生鮮食品**

**11 青果ヨシダ**  
 なにより、鹿折のまちを元気にしたいという想いで、復幸マルシェに参加しました。野菜だけでなく、果物やお花も販売して、「鹿折のまちのどこよりも安く」をモットーに、お客さんに喜んでもらえるようにしたいです。  
 営業 9:00~18:00  
 ☎ 090-3641-1159

**ファーストフード**

**12 フェニックスコーヒー**  
 復幸マルシェの方々が復興のために動いている姿や、鹿折の活力に奮起され、出店を決めました。以前は観光客向けのお店でしたが、復幸マルシェでは鹿折に住む方にも愛されるような場所にしたいです。  
 営業 10:00~18:00  
 ☎ 090-2366-4074

**電気工事**

**13 (株) 梶原電気工事**  
 ずっと鹿折で暮らしてきたので、鹿折の生活を取り戻したいと思っています。地元の人に電気のことなら、いつでも立ち寄ってもらえる場所をつくり、みんなの力を合わせて復幸マルシェを盛り上げたいです。  
 営業 8:00~18:00  
 日曜定休  
 ☎ 090-1493-8844

**タイヤ販売**

**19 タイヤショップ I・T・O**  
 復幸マルシェは、鹿折の元気が戻るためのスタートの場所。震災によって、よその街に行ってしまった人たちが、やっぱり生まれ育った鹿折のまちに帰りたいと思えるような場所にしたいです。  
 営業 9:00~18:00  
 日曜定休  
 ☎ 090-3129-1816

**喫茶・スナック**

**14 よしもと**  
 震災後、鹿折には飲み屋がなく、ふらっと立ち寄れるような飲み屋が復幸マルシェにできればと思い、お店の再開を決めました。復興に力添えの気持ちを胸に「ここを癒す」場所にしていきたいです。  
 営業 10:00~23:00  
 ☎ 090-7069-4226

**米・クリーンング**

**15 斉新米店**  
 鹿折は、ご近所や馴染みの方との繋がりが強く、特にかめ通り商店街はいつも賑わっていました。復幸マルシェも以前のかめ通り商店街のように交流を大切にできる場所にしていきたいです。  
 営業 10:00~17:00  
 日・祝定休  
 ☎ 0226-24-1100

**トレカショップ**

**16 カードキャピタル**  
 幼少の頃、遊ぶ所が沢山あった鹿折は、何一つ面影を残さない無残な姿に変えられてしまいました。子供たちが居たいと思う故郷を取り戻したく、ゼロからの再起を決意しました。  
 営業 平日14:00~21:00  
 土曜10:00~21:00  
 日祝10:00~20:00  
 ※夏休みなどの長期休みの時は土曜と同じ営業時間です  
 ☎ card-capital@hotmail.co.jp

**鮮魚**

**17 斉清魚店**  
 移動販売から始めて、鹿折のお客様からも「買い物できなかったから助かる」という声を聞いてきました。復幸マルシェでは、鹿折の人が欲しいものを欲しいときに入手できる環境を整えたいです。  
 営業 6:00~18:00  
 ☎ 080-1670-1444

**建設業**

**18 小野寺工業 (株)**  
 代表の塩田とは同級生であり、鹿折で暮らす仲間だったので、この復幸マルシェをつくらんと聞いた時に、少しでも力を貸したいと思いました。まだまだ、復興への道は長いですが、元気な鹿折のまちを取り戻したいです。  
 営業 7:00~19:00  
 ☎ 0226-22-7913

**事務所**

**鹿折復興マルシェ 事務局**  
 長い間、鹿折を離れて暮らしていたので、大人になってからの鹿折の思い出は少ないですが子どもの頃たくさん仲間と遊んだ大切な場所です。鹿折の復興のため、これから生まれてくる子どもたちのためにも、復幸マルシェから鹿折のまちを考えていきたいです。  
 営業 10:00~18:00  
 ☎ 080-5225-5151

**レンタル・販売業**

**20 (株) グレイス**  
 故郷である鹿折の復興のお手伝いを少しでも出来れば幸いです。マルシェに出店する店主さんとともに、若い人の力もどんどん取り入れていきたいと思っています。  
 営業 9:00~21:00  
 ☎ 080-2811-5615

**コミュニティスペース**

鹿折復幸マルシェには、鹿折に暮らす人たちが鹿折を訪れた人たちが自由に立ち寄れるコミュニティスペースを設けています。

**あんばさん**  
 いつでもどなたでも自由に交流できるスペースです。  
 1棟の2階にあります。

**Coming soon**  
 ボランティアのための宿泊所や映画室の構想もあります。詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。

**金山**  
 鹿折地区の震災後の写真や現在までの復興に向けての写真や動画を常設展示しているスペースです。  
 1棟の2階にあります。

## 鹿折復幸マルシェ完成までの道のり

**震災前のまちなみ**

震災前の鹿折地区は、気仙沼湾に面してファブリ加工品等の工場や倉庫が建ち並び、その北側には住宅地がありました。(写真左:被災前のマルシェの敷地 写真右:かめ通り商店街)

**2011年3月11日 東日本大震災**

鹿折地区は気仙沼湾の奥部に位置しているため、多く瓦礫が流れてきました。瓦礫の山がいくつもあり、震災直後は、地元の人でさえ、道がわからず迷ってしまうほどでした。

**復幸市場プロジェクト開始!**

4月には構想がはじまり、7月に復幸市場の敷地が決定しました。仮設店舗を建てるために瓦礫撤去や基礎の解体を行い、敷地を整地しました。

**2011年11月 1棟目着工!**

11月18日に1棟目の工事が始まりました。名称が「鹿折復幸マルシェ」に決まり、ホームページがスタートしました。

**2011年12月 1棟目引き渡し・2棟目着工!**

12月末に1棟目が完成し、引き渡しが行なわれました。各店舗ごとの本格的な内装工事も始まり、店舗らしい形が見えてきました。並行して、2棟目も着工しました。

**2012年1月28日 プレオープン・3棟目着工**

1棟目の5店舗が、一足先にオープンしました。プレオープンには、関係者を含め約700名の方々が復幸マルシェに足を運んでくれました。その1週間後に3棟目が着工しました。

**2012年3月10・11日 グランドオープン!!**

震災から1年経ち、瓦礫の山だった場所に3棟の仮設店舗が完成しました。地域の方々をはじめボランティアや支援団体の方々に支えられてオープンを迎えることができました。